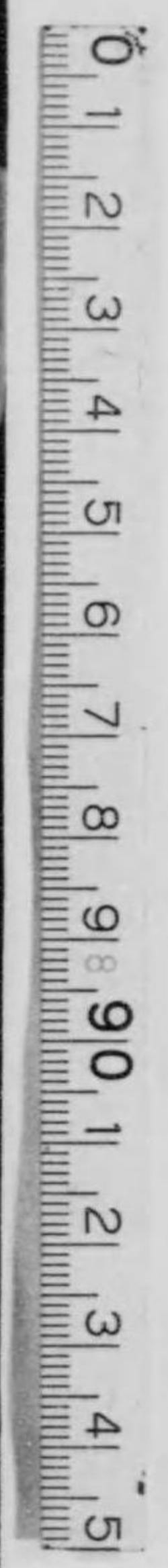


4/2
59



年中行事繪卷
五
止

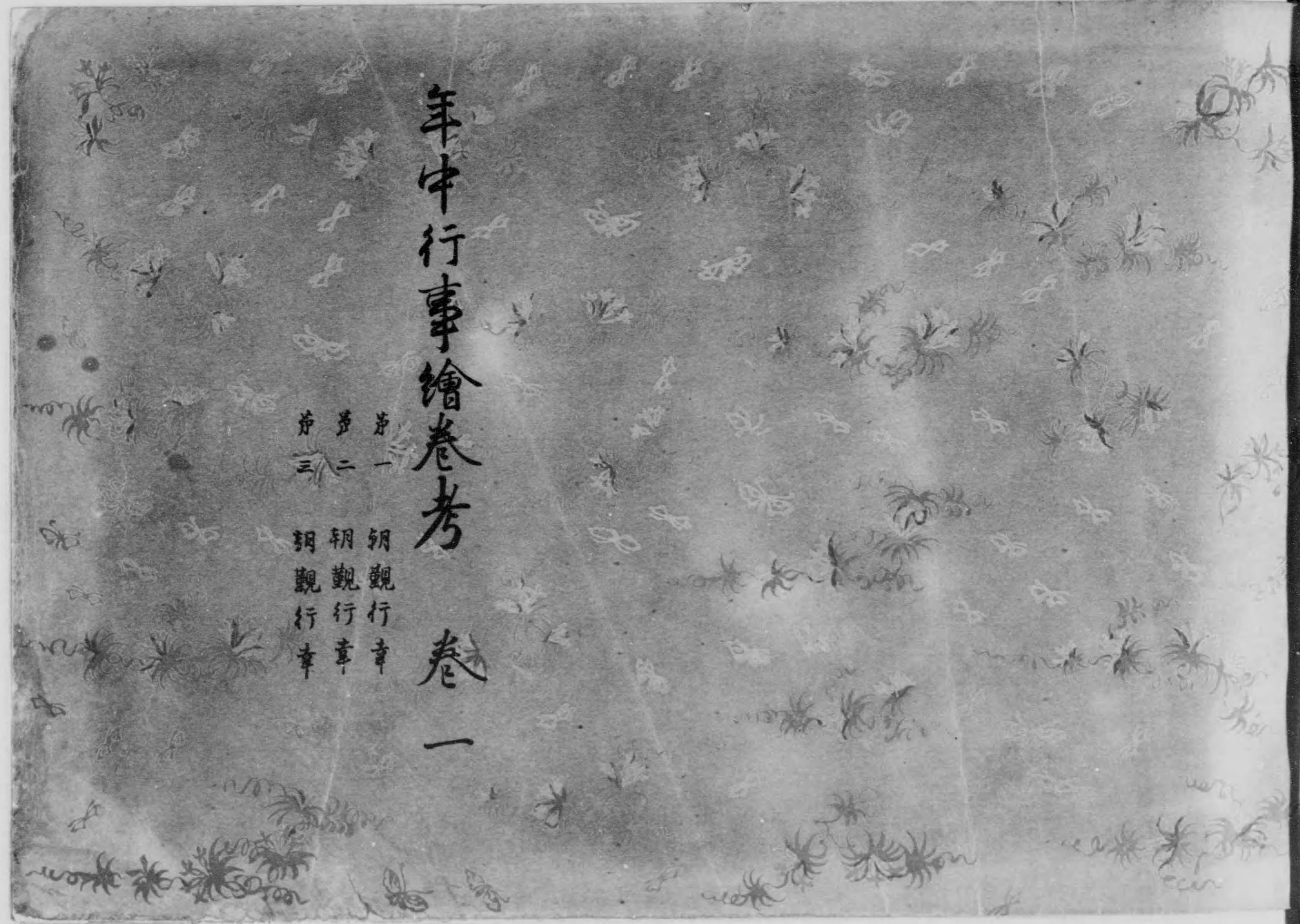
始



年中行事繪卷考

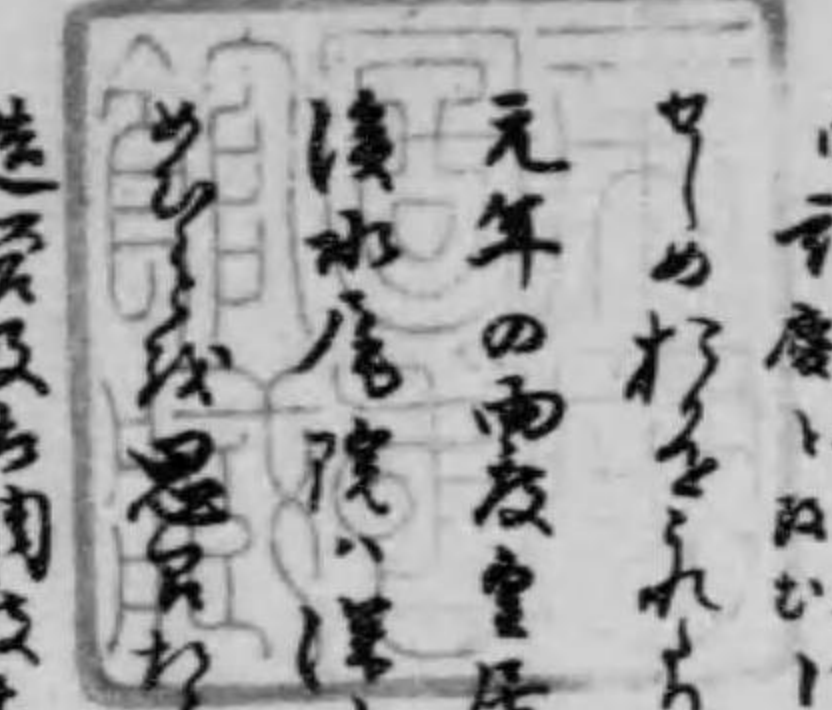
卷一

第一	第二	第三
朝觀行章	朝觀行章	朝觀行章



年中行事繪卷物再興趣意書

年中行事繪卷の後の河帝の勅命により時の繪可預春日先長其他名在教人より
六十卷の繪巻を遺すに爾来戦邦の重寶として宮中にありし是れ移り物也。皇居
美上教庭に在り此繪巻も紛失し焼失して四百餘年以て遺る。清水尾帝の時より
三十一の年より少敷となり此繪巻の成りしは法承元年文内家焼く以前に信々
筆者ハ時常時皇城の建築内外の裝飾儀式及他風俗を目前に見し後と為り
多しものなる以て桓武帝延暦三年創立の年法と四百餘年同窓文在殿と極まる帝
都の壯觀文極殿の威時ハ此繪巻に本跡を留り建久の清政権武門に移り宮中の
式微に傾き漸次河邊皇の規模狭小となり此繪巻の存するに僅に昔の面影を憶
ふに不わり後々河法を深慮しを此繪巻の外より法承元年帝ハ賢明の君にま
さ記さるるのみと圖原の信をよむるも此繪巻の外より法承元年帝ハ賢明の君にま
ま一に此繪巻の多く失ふは法承元年帝ハ賢明の君にま
内記法承元年に勅し宮中に残り原が及他世に現存を撰り法承元年帝ハ賢明の君にま
やめねをこれより次受より三十二年法承元年帝ハ賢明の君にま
元年の雨夜皇居美上の御座り原が全部鳥有に帰す法承元年帝ハ賢明の君にま
清水尾院ハ法承元年に法承元年帝ハ賢明の君にま
法承元年に勅し宮中に残り原が及他世に現存を撰り法承元年帝ハ賢明の君にま
造及出納及他の御座りの費用多端の原繪巻再興の如きを断然出延期ある
百奏上りた痛くは為勝りて法承元年帝ハ賢明の君にま
やも中止を祈りし法承元年帝ハ賢明の君にま
如慶の家に傳へし書勅定あり代々其家に傳へ書勅定あり代々其家に傳へ書勅定あり
中の御儀式の御座りあるは法承元年帝ハ賢明の君にま
事業も富加智力責任を承りて法承元年帝ハ賢明の君にま
物もも様々なるものを法承元年帝ハ賢明の君にま
又順次の錯非も多し法承元年帝ハ賢明の君にま
祈り日文章の御座りあるは法承元年帝ハ賢明の君にま
分都して御座りあるは法承元年帝ハ賢明の君にま
とる補い御座りあるは法承元年帝ハ賢明の君にま
欲を希ふ此を法承元年帝ハ賢明の君にま



大正四年五月
8. 6. 4
購求

田中有美志



三才の...
 六十...
 華中...

年中行事考目次

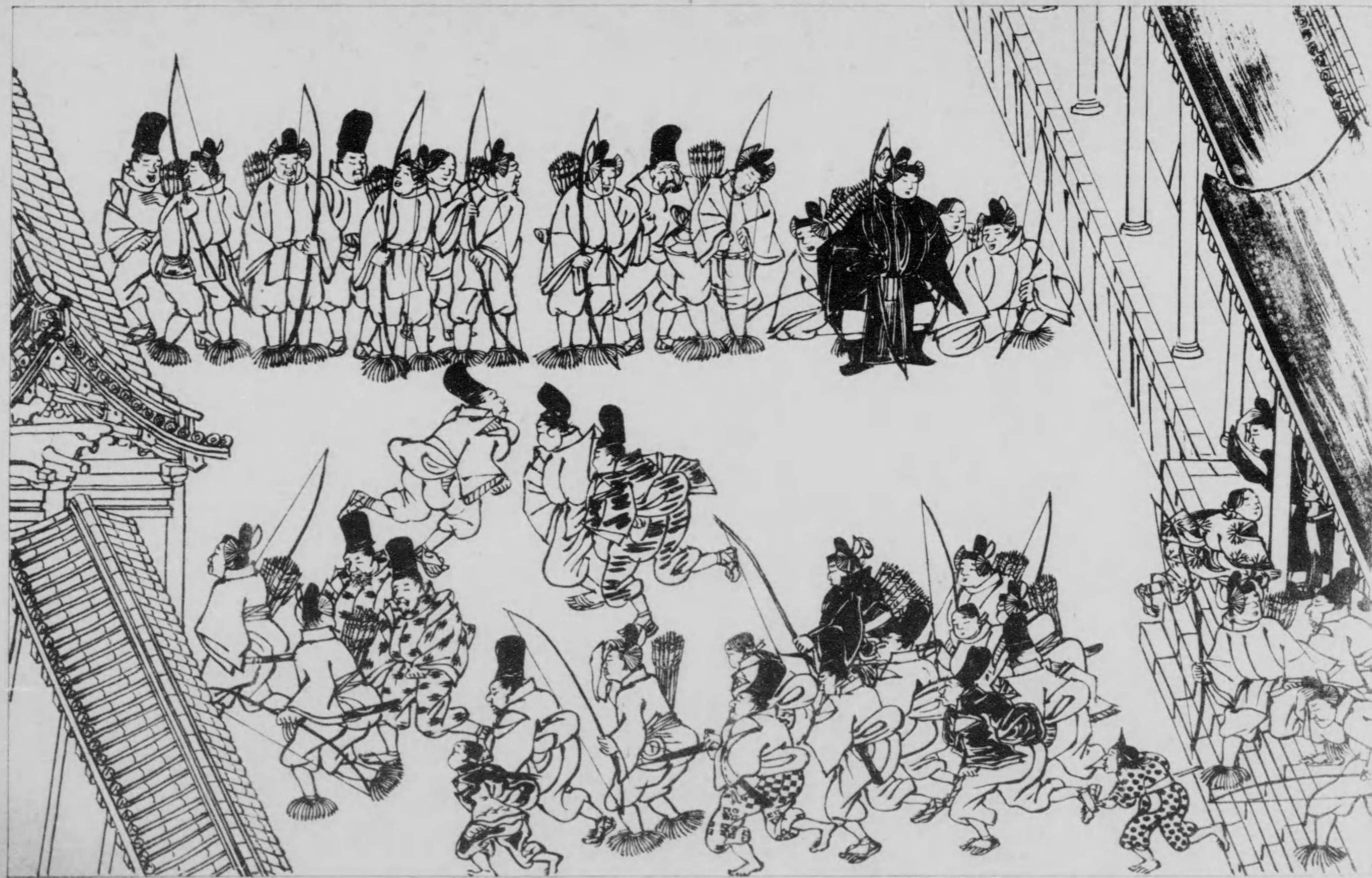
第一	朔親行幸	三枚	第三十	真言院御修造	三枚
第二	朔親行幸	五枚	第三十一	齋會	五枚
第三	朔親行幸	六枚	第三十二	齋會	六枚
第四	朔親行幸	九枚	第三十三	齋會	三枚
第五	朔親行幸	五枚	第三十四	六月校	三枚
第六	正月遊教	二枚	第三十五	城南祭	二枚
第七	蹴鞠	三枚	第三十六	不知社、神祭	三枚
第八	蹴鞠	三枚	第三十七	不知社、神祭	五枚
第九	右邊御陣座	二枚	第三十八	牛車馬、香壽	二枚
第十	二宮文姫	四枚	第三十九	不知社、神祭	二枚
第十一	不知社、神祭	二枚	第四十	加茂祭	十枚
第十二	叙位	一枚	第四十一	不知社、神祭	九枚
第十三	御燈	二枚	第四十二	園地町	四枚
第十四	臨射	九枚	第四十三	五月園地町	六枚
第十五	臨射	三枚	第四十四	若駒政	九枚
第十六	臨射	四枚	第四十五	鷄合	四枚
第十七	加持香形	二枚	第四十六	鷄合	六枚
第十八	祇園會	六枚	第四十七	春日口宮祭	六枚
第十九	近江宮祭	八枚	第四十八	開月加茂詣	十枚
第二十	肉宴	六枚	第四十九	齋院御禮	七枚
第二十一	肉宴	二枚	第五十	齋院御禮	九枚
第二十二	肉宴	二枚	第五十一	齋院御禮	十枚
第二十三	肉宴	二枚	第五十二	齋院御禮	六枚
第二十四	肉宴	三枚	第五十三	文姫	一枚
第二十五	踏鼓	三枚	第五十四	大姫	三枚
第二十六	水邊馬場勝射	六枚	第五十五	大姫	二枚
第二十七	水邊馬場勝射	一枚	第五十六	不知社、神祭	一枚
第二十八	水邊馬場勝射	七枚	第五十七	不知社、神祭	五枚
第二十九	不知社、神祭	五枚	第五十八	法善會	二枚

卷一 朝觀行幸



卷一 朝觀行幸
一 朝觀行幸
二 朝觀行幸
三 朝觀行幸
四 朝觀行幸
五 朝觀行幸
六 朝觀行幸
七 朝觀行幸
八 朝觀行幸
九 朝觀行幸
十 朝觀行幸
十一 朝觀行幸
十二 朝觀行幸
十三 朝觀行幸
十四 朝觀行幸
十五 朝觀行幸
十六 朝觀行幸
十七 朝觀行幸
十八 朝觀行幸
十九 朝觀行幸
二十 朝觀行幸











幸の朝見



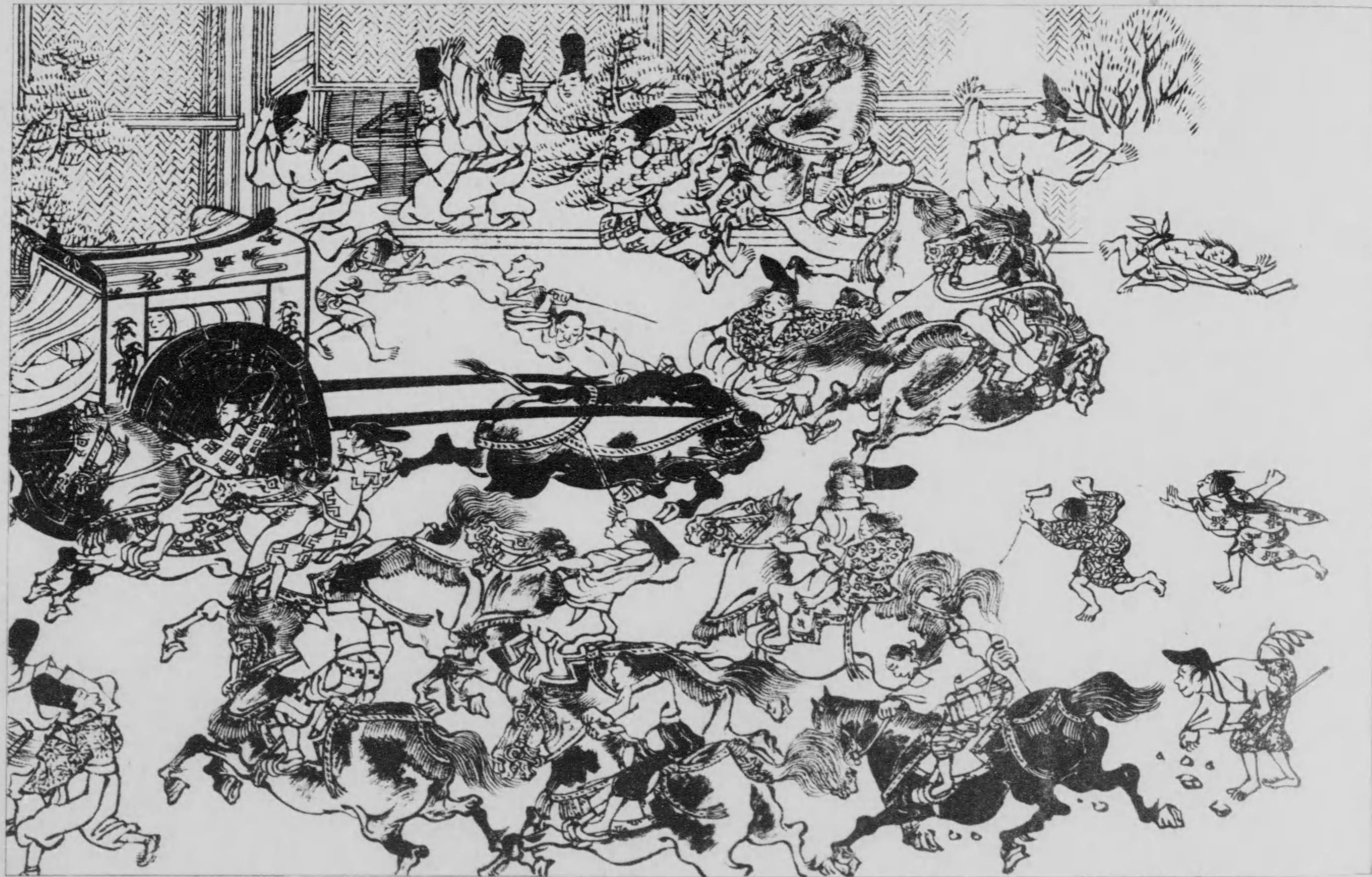






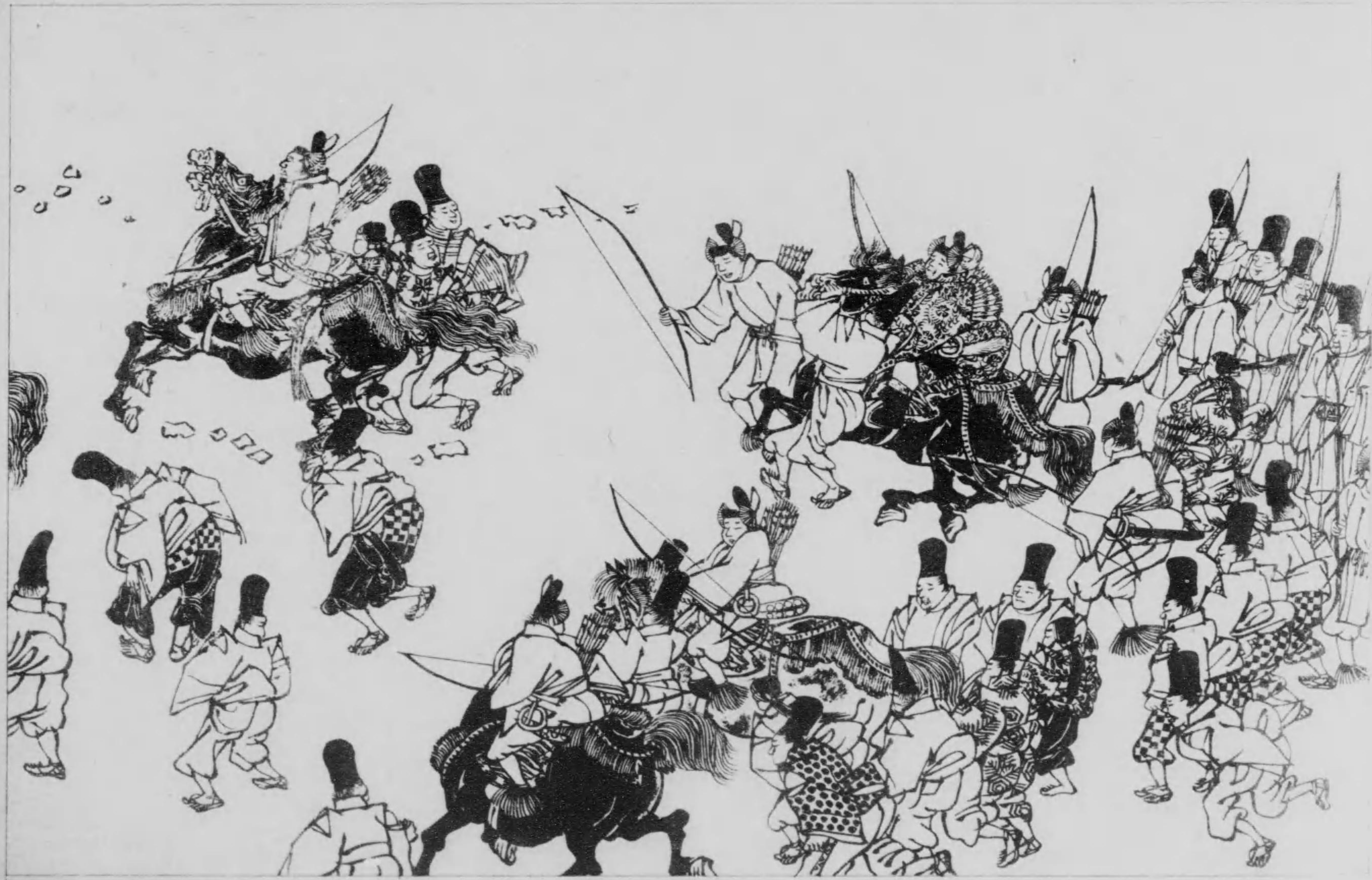
五具



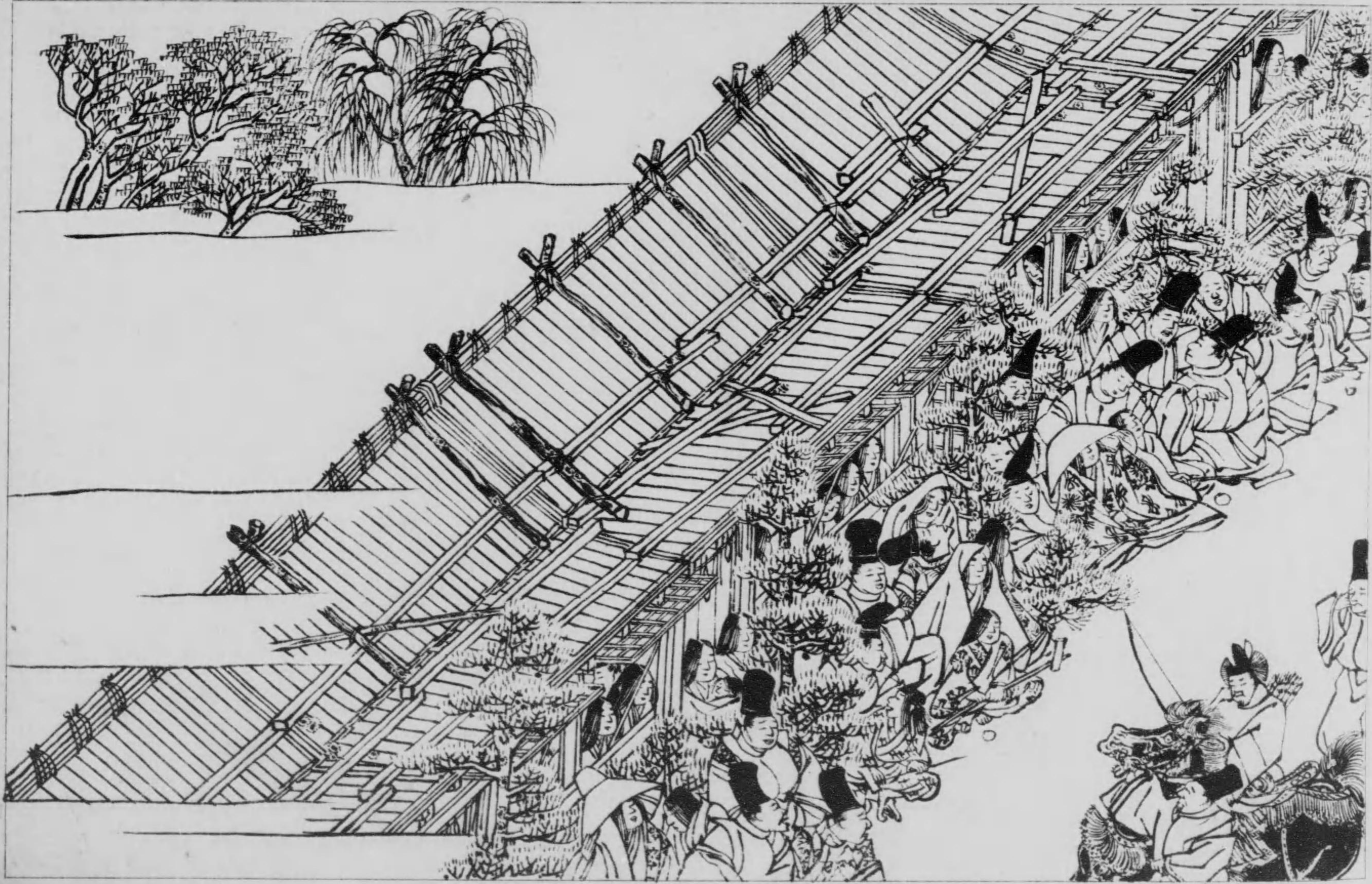












終

